

○北海道命名150年記念 インフラ歴史ツアー (五感で感じよう! 篠津農地開発と石狩川治水の歴史) 【概要】

ツアーテーマ 『国家的一大プロジェクト「篠津泥炭地開発」と石狩川治水の歴史』

◇現在、日本有数の穀倉地帯となっている篠津地域は、かつては農耕が困難な軟弱で水はけの悪い泥炭地であった。また、その地域を流れる石狩川は、度々氾濫し水害を引き起こした。

◇明治期からの治水対策により、石狩川流域の水害被害の軽減が図られ、水位低下により土地の排水を促進。さらに、世界銀行の融資を受けて行われた国家的プロジェクト「篠津泥炭地開発」による排水・灌漑施設等の整備により、農地の基盤が築かれた。

☆実際に現地を巡りながら、泥炭地の開発や石狩川の治水事業の歴史に触れ、安心して生活し、農業ができるようになり、美味しいお米や野菜が穫れる肥沃な農業地帯となった地域の成り立ちを学ぶことで、インフラ整備の成果を実感できるツアー。

催行予定

平成30年7月、8月、9月の各月1回(全3回) 【土日祝日可】 (日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回 20名